



2020東京五輪・パラリンピックに向け、中国ナショナルサーフィンチームが5月から6月にかけて、市内で38日間の強化合宿を行いました。選手やコーチ、政府関係者ら計38人が来市し、県内では最大規模の事前合宿となりました。

滞在中、選手たちは練習に汗を流すだけでなく、地元の高校生との交流、ビーチクリーン活動や「東京五輪音頭」の練習に参加するなど、積極的に市民との交流を図りました。また寮生活では、ごみの分別や食事の配膳など、自分たちでできることは自分たちで行い、日本の生活を学びました。

本市は、2020東京五輪・パラリンピックのサーフィン競技について、米国および中国のホストタウンに登録されています。

問い合わせ 情報交流課 桑田
☎(23) 0040



中国ナショナルサーフィンチーム 強化合宿 in 牧之原

鍛錬と交流、



①②市内の旧社員寮を貸し切って共同生活。掃除など自分たちでできることは自分たちで行う ③専属のシェフが帯同し本格中華を振る舞う ④静波海岸のビーチクリーン活動に参加 ⑤地元高校生との交流会 ⑥「東京五輪音頭」を練習 ⑦⑧⑨⑩静波海岸を拠点に、楽しく真剣にトレーニング ⑪市内外への観光でトレーニングの息抜き ⑫市から中国チームにプレゼントしたTシャツ ⑬中国チームからプレゼントされた寄せ書き ⑭熱い友情も生まれる ⑮高松神社（御前崎市）で波乗り祈願 ⑯練習の成果を発揮し「東京五輪音頭」をみんなで踊る

友好の38日間。

